

DOJIN
R18
成人向け

18歳未満の
購入・閲覧禁止



尾を振る兔は叩かれる

この本はメインストーリー vol.4カルバノグの兎 第1章の内容を含みます。

抵抗がある方はストーリーを進めてから読むことをおすすめします！

先生…

私たちは
あなたのような
大人が一番嫌いです

先生を
ここで
生徒に
嫌われたのは

地獄へ
落ちなッ!

初めての
ことだった

二度と
会うこと
もない
だろうね

いいから
歩け

先生として
行き場を
無くした
生徒達に
尽くしたい

SRT
特殊学園の
閉鎖

所属生徒の
抗議に伴う
公園占拠

強く
そう
思った
事案
だった

私…の
昔…
安座…
増…
ら…
す…
ん…
だ…

ジャラ…



尾を振る兔は叩かれる



…いいか

…またあんたか



何回来ようと
同じだ

こうしてまた
テント生活を出来るのは
あんたのお陰だと
思っていない



わかったら
二度と来ないで
ください

私たちは
あなたの助けなんて
必要とじていません



深夜…

キョ

キョ

ピクッ

ガサガサ

…あッ

せ

先生…

本当に
来てくださったん
ですね…

もちろん
ミュとの約束を
破るわけないよ

私みたいな出来損ない…
てつきり忘れ去られて
しまうかと…

そんなことないから
安心して!!

えっ…

みんなと和解できるように
仲を取り持ってくれる…?

はっ
はい…!

…霞沢ミュ?





うん
取り調べの時
フブキが担当
してたよね？

あーっ

ガッ

あー…
RABBIT小隊の？

自分が目立たないとか
人から忘れ去られるのが
怖いとか…
とにかく影が薄くて
否定的な性格だったな！

え？
先生を呼び出した？

へえ
だからどんな人か
詳しく知りたいって
ことね…



フブキの言っていた通り
ミュは否定的な性格だったが

だからこそ毎日追い返される
私をみて不敏に思ったらしい

他の生徒と違い
特別私のことを
毛嫌いしているわけでも
ないみたいだ



まずはミュとの
関係を深めた



5

20

温湿度による
誤差を補正...



私は他のRABBIT小隊の
生徒と仲良くなる為に



50

80



今日も...
ダメでしたね...







いつもミュの存在が
助けになっているんだ

ミュの言葉や
努力は私の心に
ちゃんと届いているよ



せっ

せせせ

先生…っ!?

そんなことないよ



正直
辛いんだ…

先生として
生徒の助けに
なりたいたけなのに
こうも
上手くないなんて…

先生…



大丈夫…
です…

先生はこんな私と
いつも一緒にいてくれます…

ちゃんと生徒の助けに…
なってますよ…

ミュ…







でも私なんかで…
その…

嫌じゃない…ので…
い

あ…
えーと…
その…

すまん…つい…!



いいのになって…

ズボッ

ミュツ

ん？
!?



ミュー!

わ…私と…
先生が…?

ホヤ

キ…

キス
しちゃった!



なんかじゃないっ

ミュがいいんだ

先生…

そんな…あ
ところ…ッ

汚い…
です…ッ

汚くないッ

あ

せ

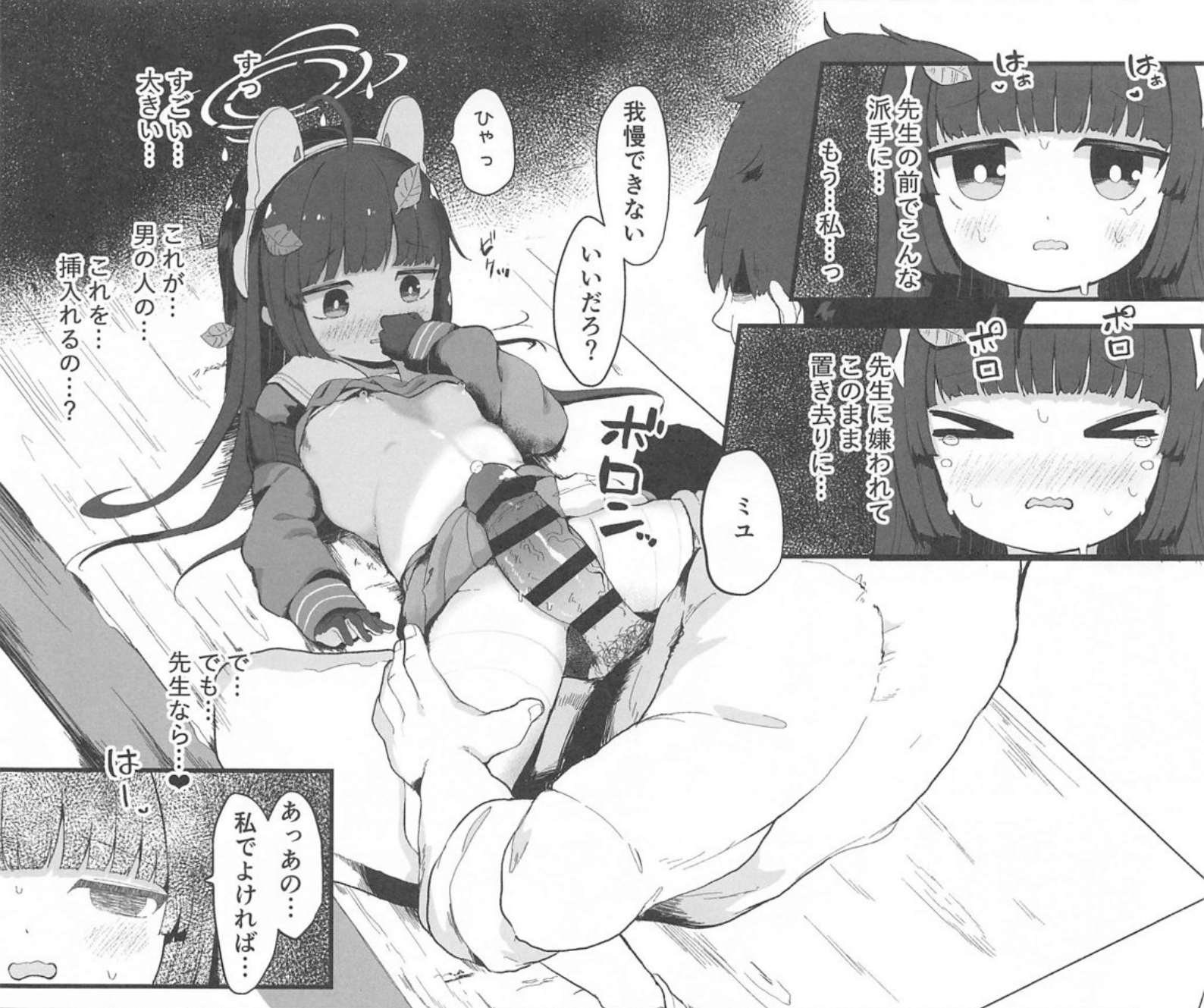
は

は

ん？

ん？





5分後…

ミュ…好きだ…ッ

私に手を差し伸べてくれた時からずっと…!

私にとってミュは大切な存在なんだ…ッ

ずっとミュのそばに
いるからな…ッ

ほんっ

ばんっ

ぼちっ ぼちっ

本当ですか…?

先生…

私のこと…
見失わないでくださいね…

カッ

ああっ!!

見失うもんか!!

ミュ
すまんッ

カッ

優しくしようと
したけど…

ムッ

我慢できない…ッ!

ミュッ!

射精るッ!!

ドクッ

ドクッ

すい...

おなかの中...

先生でいっぱい...

スワ...

せっ

は

せんせえ...

は

好きだぞ...

ふい

ミュ...

ふい

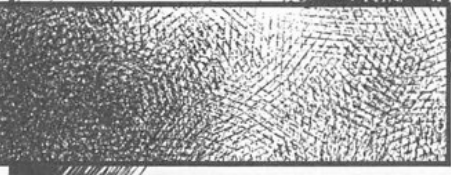
ビク

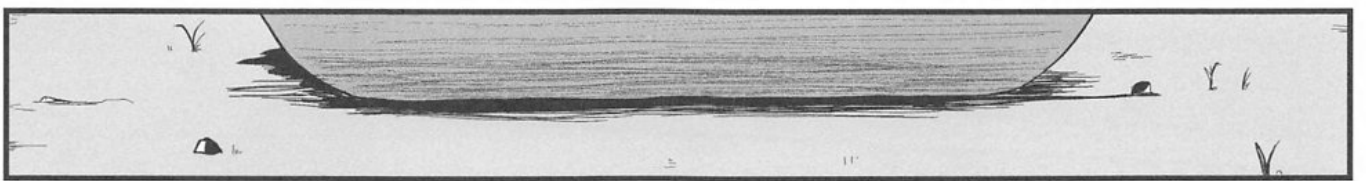
かんん

わ
私も...











でないとは次は
足を狙いますよ

これ以上
近づかないでください

キヤキ

!



何度来ようと
同じです
本当に
懲りない人ですね



皆さん
いきましょ...



シラ...

そ
そんな...

へほ...



行きましよう



……

キョ



ミュのやつ
すっかり先生に
お熱だね

少しは話を
聞いてやっても
いいんじゃない？

そ
そうはなりません

いくらミュが
心を許しているとはいえ……

そうだぞモエ

あんなやつに
耳を傾ける必要はない



先生……
立てますか……？



すみません……

私ともう少し……
みんなと仲がよければ……

んん

んん



生徒の信用も
ままならない
私は

先生失格だ

それでも
ミュだけはー



私のことを
わかってくれるー



ずっとー



ミュー

一緒にいようなー

ズッ...



先生が
こんな私のことを
激しく求めてくれる…♡

射精るッ

射精るぞ!!
ミエッ!!

オニ

私のことを必要と
してくれている…♡



オニ

オニ

嬉しい…

嬉しい…



もっと...

叩く度に締まって
精液搾り取ろうと
してくる...!
ミュ...!
もっと
搾り取って...!

せえ...

せえ...

ジュッ...



ミュ...

ずいこ
ころしてよんな...

ジュッ...

ジュッ...

ジュッ...



うん
よろしくね



よろしく
お願いします…♡



先生…
今日のシャーレの当番…



ゴロン!
まずは
お掃除からね



さすがミユツ
私の気持ちいい
とくわかってる…!!

そこ…ッ
裏筋やば…ッ

おっ

ん♡

ふ♡

ん♡

ん♡

七っば♡

七っば♡

七っば♡

七っば♡

七っば♡

七っば♡









キョッ

こんなにずっぱり
啜えこむなんて…!

ほらッ

奥まで挿入してるのが
良く見えるぞ…!

ほらッ

キョッ

キョッ

キョッ

キョッ

キョッ

こうやって
片足をあげないとッ



キョッ

キョッ

キョッ

キョッ

キョッ

グワッ

グワッ

グワッ

そんなに精子が欲しいなら
一番奥にたっぷり
射精してやるからな…!

ちゃんと受け止めるんだぞ!
ミュッ



ハハッ

あ
せんせえ…♡

ありがとうございます…♡

嬉しいですよ…♡

こんな私でよければ…
ずっと…
使ってください…♡



999

絆ランクアップ!
依存+10000



ニユ…

ちゅぽ

もちろんだ…
一生私のもの
だからな…

ちゅぽ

びゅん



.....



フワ...

い、一方的に對話を拒否するのモ
良くないよ、お、お、お



は、話くらひは...
聞いてもいいですよ

！ 笑顔 一步前進

あとがき

お久しぶりです



むぎちょこです

初めてブルアカ本
猫きました！

RABBIT小队

装備多いし

ヘイローもあるしで

大変だ、たけど

楽しく描かせて

頂きました



ミュウのことが気になって

始めたブルアカでしたが

進めていく内にどんどん

ミュウにはまって本まで

でまいました。

しかも本の内容考えま

たらふくらみ過ぎて

まよまよの長さに。

はまたな。むぎちょこ。



というわけで

次回、受かれば冬ミュウ
水着ミュウ本



RABBIT小队と
消えたミュウの謎

尾を振る兎は叩かれる
発行日 2023/8/12
発行 むぎちょこストア
Twitter mugichokooo
pixiv 5605258
mail mugichocostore@gmail.com
印刷 サングループ様



むぎちょこストア